

身の回りに起きた出来事など、楽しい情報をお寄せください。  
●役場企画財政課 (☎611-2724)

※広報紙に掲載した写真を提供していません。希望する方は企画財政課へ問い合わせください。



高橋町長を前に、SDGsの視点からさまざまな提言を行う児童

**矢巾東小の児童が提言  
新春・町長と語る会**

新春・町長と語る会を1月25日、矢巾東小で行いました。高橋町長に対して、児童生徒が町に対する提言などを行う新年の恒例行事です。

6年生63人が参加し、代表者8人が国連の持続可能な開発目標(SDGs)の視点から、風力・太陽光発電などの地球に優しいエネルギー開発や蓄電池付きの発電自転車の設置などを提言しました。



母校へ寄付した細川さん(中央)と不動小創立150周年記念事業協賛会長の坂本信行さん(右)、鷹鷲達校長(左)

**地元住民から節目に寄付  
不動小創立150周年**

令和5年度に創立150周年を迎えた不動小に対し、卒業生の細川潤子(じまぐす)さんから寄付がありました。

同校では細川さんからの寄付金を活用して、校内の図書室に学校のシンボルから命名した特設コーナー「三本松文庫」を設置。伝記などの名著199冊が書棚に並んでおり、児童の自主学習などに活用されています。



会場が一体となった校歌斉唱

徳田小創立150周年記念式典は1月27日、田園ホールで行われました。児童や保護者、来賓ら約400人が出席して節目を祝いました。

式典では、全校児童による呼び掛けが行われ、同校で受け継がれてきた歴史と伝統に思いをはせながら「建築士になってみんなが笑顔になる家を建てたい」「宇宙に行き、自分の目で地球を見たい」など、児童それぞれが自分の夢を語りました。

同校は明治6(1873)年に北郡山小として開校。統合を経て明治40(1907)年に徳田尋常高等小となり、昭和22年(1947)年に今の校名になっています。



功労者として感謝状を受領した八重畑栄喜さん、矢幅智さん(左から)

**伝統と夢を胸に  
徳田小創立150周年式典**



**プロロジスと災害協定を締結**

災害発生時や発生のおそれがある場合に、広宮沢の「プロロジスパーク盛岡」の施設内で避難者の受け入れなどを行い、地域住民の安全確保を図ります。  
〔写真左から〕協定書を持つ山田御酒代表取締役会長兼CEO、高橋町長

**民間企業などとの協定状況(2月)**



入賞した中島さんと佐藤さん(左から)

**国際平和ポスター  
徳田小の2人が受賞**

第36回ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト332複合地区(東北)で、徳田小の佐藤萌乃(ほの)さん(6年)が優秀賞に輝きました。また、同332B地区(岩手県)では中島莉子(りこ)さん(同)が最優秀賞。2月6日、同校に矢巾ライオンズクラブの横澤茂(しげる)会長が訪れ、表彰状や記念品が伝達されました。



徳田保育園の児童も出演した徳丹獅子舞

**町内の伝統が共演  
郷土芸能大会**

第46回町郷土芸能大会を1月21日、田園ホールで実施。町内7つの芸能団体に加えて、紫波町の赤沢神楽も出演しました。約500人が来場。ベテランによる勇壮な演舞、地域の保育園も参加した可愛らしい演舞など、各地域に伝わる伝統や特徴のある郷土芸能を楽しみました。



修了式で段ボールベッドの組み立てを体験する関係者ら

**防災士養成講座修了式  
19人が地域のリーダーに**

町防災士養成講座の修了式を2月18日、町公民館で実施。受講者19人が防災士の資格を取得しました。受講生を代表して阿部江利子(えりこ)さん(南矢幅2区)が「地域の防災力向上のため努力する」と決意を述べました。また、修了式では訓練の一環として、避難所で使用される段ボールベッドの組み立ても体験しました。